

北海道建築士会青年委員会事業報告書

報告件名	第3回 青年委員会
報告者	針ヶ谷拓己
開催日時	平成25年12月14日 14:00～17:00
開催場所	事務局会議室（札幌市中央区大通西5丁目 大五ビル6階）
出席者	針ヶ谷、前田、斎藤、鳩澤、森、石塚、土田、山田、工藤、松本、北野、伊井、吉木副会長、岡本、（小林、大浦）

報告内容

1. 平成25年度事業報告、平成26年度事業計画・予算案について（針ヶ谷）【14:00～14:40】

（1）事業方針（24年・25年）

「建築士会活動の推進、アピール・・・。そして建築士（会）のブランド力アップ」

“地域社会や生活者” “建築士” “会員” から、「いいね」と感じていただけるよう、

“地域貢献” “スキルアップ” “仲間づくり” という基本活動の拡充を促していくとともに、その活動を広く社会へアピールすることにより、建築士（会）のブランド力アップに貢献する。

（2）平成25年度事業報告・決算（見込み）

○別紙による

（3）平成26年度事業計画案・予算案

○別紙による

（4）次期本部青年委員会

○委員長：針ヶ谷拓己（札幌支部）

○副委員長兼道央ブロック長：石塚尚也（恵庭支部）

○副委員長：原一彦（旭川支部）

○道南ブロック長：福澤誠（室蘭支部）

○道北ブロック：北野学（名寄支部）

○道東ブロック：山田大樹（十勝支部）

○委員：小林祐司（札幌支部）

○委員：永井裕史（苫小牧支部）

○委員：大浦昌浩（宗谷支部）

○委員：未定（道東ブロック）→都合により、早急に再検討する

2. 全道青年委員会連絡会議について（針ヶ谷）【14:40～15:00】

○日時 平成26年3月29日（土）14:30～

○場所 かでる2.7（懇親会：未定）

○内容 ①挨拶②平成25年度事業及び決算報告③平成26年度事業計画及び予算案説明④研修会⑤総評

○研修会 ワークショップ（ワールドカフェ）

「未来への架け橋」～建築産業界の問題点共有とその解決～

景気回復、消費税アップ、東京オリンピック、東北復興という時代背景の中、民間の設備投資が増え、公共事業も増えており、これまで不況であった建築業界に日差しが注いだ状況にある。一方で、職人不足・建築資材の高騰・確認審査（構造計算適合性判定）の遅延などから、工期が守れない、利益を生み出せない、公共工事の入札不落などの問題も深刻化している状況にある。このような建築業界のさまざまな問題の解決に、将来の建築業界構築への架け橋となる建築士会青年委員会が、真剣に取り組むべきと考える。こういった取り組みにより「一般建築士・企業・行政」の共感を得て、建築士会のブランド力を高め、会員増強につなげていきたい。

具体的には、

- ①（指定席）職域（設計・施工・行政）グループにて、問題点を発散
- ②（指定席）職域ミックスグループにて、問題点の発表と共有
- ③（自由席）自由グループにて、問題点の収束。自分たちで解決できる問題は省き、解決が難しい問題点を抽出。可能であればその問題点の解決策を模索
- ④発表
※抽出された問題については、連合青年委員会へ報告し、国交省等への意見書としてまとめる予定

○資料 メンバーカルテ、地域実践活動事例報告シート、自己PRシートを更新し、当日配付する。
来期になってから、新ブロック長より各支部青年委員長へ依頼予定。

3. 青年建築士の集いについて（山田）【15：10～15：30】

- 日時 平成26年5月中旬
- 場所 帯広市（十勝ブロック担当）
- 内容 未定

※青年建築士の集いは、従来、全国大会地域実践活動発表会へ出場する北海道ブロック代表支部を選考する場であった。近年は集いを主管する支部で行われている地域実践活動へ全道の青年が参加するスタイルとなっており、青年サミットの事業内容と重複していると感じられる。来期は青年建築士の集いの今後の方向性についても協議を行う。

4. その他報告及び連絡事項【15：30～17：00】

- (1) ブロック協議会報告
別紙報告書により各ブロック長より報告
- (2) 連合青年委員会の動き（針ヶ谷）
連合会会長より記者発表された、建築施工分野が抱える課題を解決し「魅力ある建築産業界の再構築」に向けた取り組みについて別紙資料にて説明した。
- (3) 青年サミット及びC分科会のパネル作成進行状況確認（石塚、山田）
2月中に作成することとし、全道青年委員会連絡会議の資料として添付する
- (4) 青年ホームページについて
青年ページ内に「トピックス」の追加をしたい。事務局よりホームページ管理会社へ確認
- (5) 平成24・25年青年委員会の振り返り
2年間を振り返り、全委員より感想等を発表